

## エゾシカ A 地区（ルシャ地区、及び、閉鎖中の道道知床公園線）における ロードセンサス結果について

### — 予報 —

知床博物館・知床財団

文責：山中正実

- ・エゾシカ A 地区のルシャ地区では、知床博物館・北大獣医学部・知床財団の共同で、同地区に極めて高い密度で生息するヒグマの社会構造や移動分散に関する調査が行われている。これらの調査の往復時に、付随的にエゾシカの見撃を記録してきている。ここでは、平成 24 (2012) 年 7～11 月と平成 25 (2013) 年 5～6 月の記録について取りまとめた。
- ・調査範囲は知床保安林道ポンプタ川右岸～テッパンベツ川右岸知床丸共同漁業部番屋までの海岸沿いの道路、延長約 3.0 km 区間であった。低速で車輛を走らせ、エゾシカの群を発見した際は、発見場所と群の構成（性別、成獣と子の別、オスの角のポイント数）と車に対する反応を記録した。
- ・2013 年 5 月までのデータでは、子は当年または前年生まれの 0 才を「子」として扱った。出産期に入った 2013 年 6 月は新生子を「子」として扱った。6 月の調査は 6 月前半までであり、出産期途中であるため、全ての妊娠メスが出産を終えた状態にはなっていない。
- ・上記と同様に、平成 25 年（2013）6 月 9、10、11 の 3 回については、冬期閉鎖中の道道知床公園線の知床五湖ゲート～知床保安林道ポンプタ川右岸（21.1 km）についてもロードセンサスを行った。尚、道道知床公園線は例年 6 月上旬には一般供用されるが（2013 年は 6 月 3 日に供用開始予定であった）、今年は 4 月末の大雪により開通が遅れていたもの。

### <ルシャ地区：知床保安林道ポンプタ川右岸～テッパンベツ川右岸知床丸共同漁業部>

- ・のべ 37 回の調査において、2012 年は発見頭数は 7 月が最多であり（平均 49 頭、最大 110 頭）、秋期に向けて漸減していった（表 1、図 1）。
- ・翌年 2013 年には 5 月が平均 136 頭、最大 152 頭、6 月が平均 86 頭、最大 195 頭であり、前年秋より大幅に増加した。
- ・最大確認頭数は平成 25 年（2013）6 月 5 日の 195 頭（65 頭/km）で、うち 172 頭（88.8%）がメス成獣（1 歳以上）であった（補遺 1）。
- ・群の構成はメス成獣が多かった（平均 78.3%：補遺 1）。100♀比は 2012 年は 7 月が 1.4 頭/100♀と極端に低かったが、8～11 月は 11～13 頭/100♀で推移した。しかし、越冬後の翌春 5 月には 1.1 頭/100♀と大きく低下した（表 1）。
- ・夏期から秋期にかけて発見頭数が漸減しているにも関わらず春期に大幅に発見頭数が増加して

いること、及び、秋期に100♀比が増加していることは、他地域からの移動があることを示唆していると思われる。

- ・将来的なシャープシューティング（SS）による個体数管理の検討の指標となる発見群サイズは、3頭以下の群（2012年のSS対象基準）が40～60%を占めた（表1）。また、発見時のシカの反応はほとんどが無反応であり、ごく一部が逃走または移動後に停止であった。

表1. 2012年7月から2013年6月までのルシャ地区におけるエゾシカの発見頭数と群サイズ、及び、100♀比（SS対象の群サイズは2012年度基準では3頭以下）。

期間	調査回数	平均発見頭数	最大発見頭数	群サイズ比率					発見群数	100♀比
				単独	2-3	4-5	6-9	≥10		
2012 7月	7	49	110	15.9%	36.5%	15.9%	14.3%	17.5%	63	1.4
8月	5	25	63	28.6%	23.8%	19.0%	0.0%	28.6%	21	11.0
9月	6	44	75	20.0%	26.7%	20.0%	13.3%	20.0%	45	11.0
10-11月	6	18	46	24.1%	37.9%	20.7%	13.8%	3.4%	29	13.6
2013 5月	3	136	152	20.4%	20.4%	5.6%	25.9%	27.8%	54	1.1
6月	8	86	195	17.6%	28.4%	10.8%	18.6%	24.5%	102	0.9

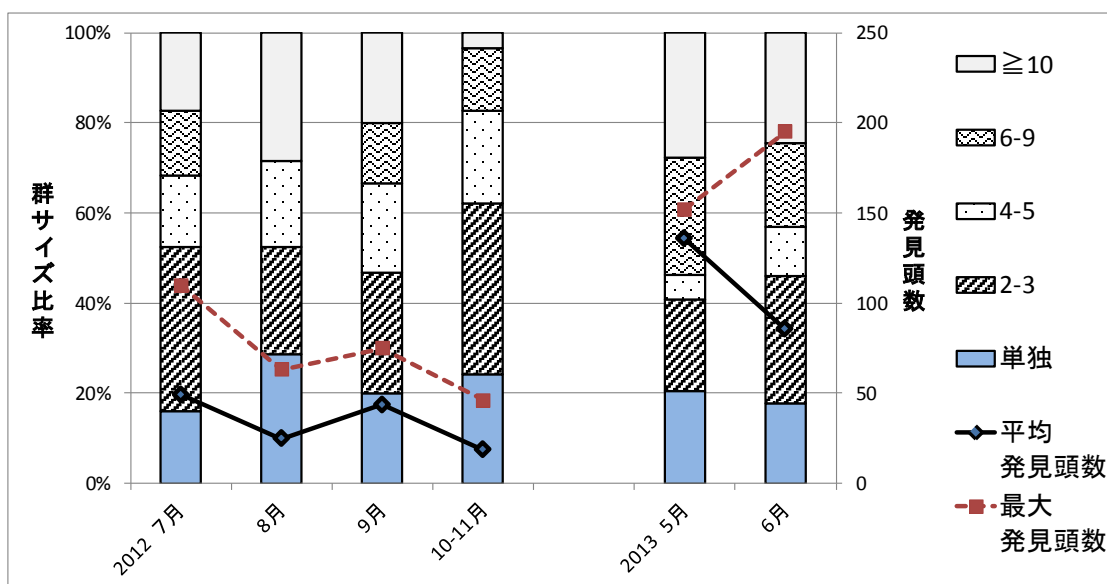


図1. 2012年7月から2013年6月までのルシャ地区におけるエゾシカの発見頭数と群サイズ

<道道知床公園線：知床五湖ゲート～知床保安林道ポンプタ川右岸>

- ・21km あまりの調査区間で、発見頭数は最大 34 頭（1.6 頭/km）、平均 25.7 頭（1.2 頭/km）であり、低密度であった（表 2）。
- ・発見したメス成獣は最大 31 頭（91.2%）、平均 22.7 頭（88.3%）であった。
- ・将来的なシャープシューティング（SS）による個体数管理の検討の指標となる発見群サイズは、単独が 59.1%、3 頭以下は 90.9%を占めた（表 3）。また、発見時のシカの反応はほとんどが無反応であり、ごく一部が逃走または移動後に停止であった。

表 2. 2013 年 6 月の閉鎖中の道道知床公園線におけるエゾシカの発見状況。

調査期日	発見頭数				計	発見数/km
	♀	Fawn	♂	UK		
2013/6/9	31	0	3	0	34	1.61
2013/6/10	24	0	3	0	27	1.28
2013/6/11	13	1	2	0	16	0.76
平均	22.7	0.3	2.7	0.0	25.7	1.22

注) 子は出産期途中につき、今後増加する。

表 3. 2013 年 6 月の閉鎖中の道道知床公園線で発見したエゾシカの群サイズ。

調査期日	群サイズカテゴリー別発見群数					総群数
	単独	2-3	4-5	6-9	≥10	
2013/6/9	7	8	2	0	0	17
2013/6/10	11	4	0	1	0	16
2013/6/11	8	2	1	0	0	11
カテゴリー別比率	59.1%	31.8%	6.8%	2.3%	0.0%	

注) SS対象の群サイズは、2012年基準では3頭以下。

補遺1. ルシヤ地区におけるロードセンサス結果 (2012年7月～2013年6月)

調査日	発見頭数					メスの割合 %	メスに対する子の割合 %
	♀	Fawn	♂	不明	合計		
2012年7月2日	5	0	4	0	9	56	0
2012年7月3日	28	0	7	0	35	80	0
2012年7月4日	50	1	6	0	57	88	2
2012年7月5日	40	1	7	0	48	83	3
2012年7月6日	59	1	18	0	78	76	2
2012年7月7日	91	1	18	0	110	83	1
2012年7月30日	3	0	4	0	7	43	0
2012年8月4日	2	0	1	0	3	67	0
2012年8月18日	30	2	6	0	38	79	7
2012年8月25日	0	2	5	0	7	0	
2012年8月30日	4	1	8	0	13	31	25
2012年8月31日	46	4	13	0	63	73	9
2012年9月1日	5	1	4	0	10	50	20
2012年9月2日	36	4	21	1	62	58	11
2012年9月15日	34	4	14	0	52	65	12
2012年9月26日	16	2	16	0	34	47	13
2012年9月27日	15	2	12	0	29	52	13
2012年9月28日	49	4	22	0	75	65	8
2012年10月4日	30	3	13	0	46	65	10
2012年10月17日	5	0	13	0	18	28	0
2012年10月27日	6	1	2	0	9	67	17
2012年11月15日	13	3	3	0	19	68	23
2012年11月28日	5	1	10	0	16	31	20
2012年11月30日	0	0	2	0	2	0	
2013年5月15日	68	1	17	0	86	79	1
2013年5月15日	96	0	10	0	106	91	0
2013年5月16日	136	2	14	0	152	89	1
2013年5月17日	128	2	14	5	149	86	2
2013年6月3日	42	0	0	0	42	100	0
2013年6月4日	90	0	15	0	105	86	0
2013年6月5日	98	0	19	0	117	84	0
2013年6月5日	172	3	20	0	195	88	2
2013年6月8日	34	0	7	1	42	81	0
2013年6月9日	127	0	25	0	152	84	0
2013年6月10日	49	1	17	0	67	73	2
2013年6月11日	38	1	19	0	58	66	3
2013年6月12日	20	0	3	0	23	87	0